

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 225 号 2017. 1. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者が互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

喜びのみかん収穫！

市川生産グループ 瀬野まゆみ



12月4日(日)、無事に静岡の伊東市宇佐美の畑で、みかん狩りを行いました。今回のみかんは、とてもきれいで、大きさも揃っていて、収穫量も414.7kgと、前回の約2倍でした。

みかんの木には、表の年と裏の年があるそうです。静岡の沼津市西浦のジュース用みかん畑がちょうど裏年で、今年1月8日(日)に選別を行いました。昨年より収量が少なかったため、宇佐美のほうからジュース用に222kg補充することができ、本当に感謝いたしました。

12月のみかん狩り準備のときに分かったことですが、みかんの重さのため下に曲がった枝を支柱で支えるなどして、手をかけた木は、不思議にハクビシン等の被害が少なかったのです。やはりお茶の木同様、みかんの木も、お世話や愛情をかけることが大切で、そういう努力や思いが、動物の被害を少なくしていくことを学びました。今年も早速、「市販のみかんと比較したら味が全然違う」「腎臓の病気で食欲がなかったが、手絞りでジュースにして飲んだら、楽になった」などの声が届いています。一人でも多くの方たちで、「自然農法活動」に頑張っていきたいと思えます！

2016年度稲作について 圃場訪問

TOREK 自然農法普及員 野中康次

自然農法とは、毎年改めて学ぶものかもしれませんが、温暖化や日照不足、低温、地震、豪雨など、同じ年はないと思われず、自然農法の作物は強いと言いつつも、それとともに、生産者の思い入れや努力、愛情のかけ方を、自然農法普及員として各地の生産者を訪問させていただき、見たり感じたりする機会がたくさんあります。2016年は易しい年ではなかったと思えます。その中で、訪問して印象に残ったことをお伝えします。

お米生産者は、販売時ニコニコ顔で穏やかですが、圃場では誰もが努力を惜しまず必死で頑張っているらしいです。栃木の五十嵐さんの圃場は、



9月11日 あぜの左が五十嵐さんの田んぼ



10月11日 木島平にて稲刈り

周りの慣行農家との比較ができ、倒れない自然農法の稲の実証を毎年しています。(その様子を見て肥料を減らす農家もあるようです)。今年、素晴らしい稲の生長を見せられたように思います。除草に取り組み、稲の分けつ良く、さらに穂が昨年より大きくなり、収量アップしました。その姿を「農産展」の展示の稲株で見せていただきました。味は年々おいしく、中野の「自然栽培フェア」では、化学物質過敏症の方が食べられたと感謝の声も頂きました。五十嵐さんのコツコツ取り組む姿に、

それから、いつも勉強させていただける長野きじ

ま平の堀さんは、色々あったようですが、新品種「はたはったん」の圃場を、堀さんと二人で縦横同時除草、名付けてクロス除草と言いつつ、体力は減りながらも楽しくさせていただき、田んぼがきれいになりました。次の機会に訪問すると、稲は分けつし、さらに穂が稔って、感動いたしました。別の品種(農林48号)ですが、「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」に入賞し、堀さんは開催地の熊本の菊池市へ行き、熊本のTOREK生産者の方々と交流され、とても意義ある年だったのではないかと思います。

そして、熊本の生産者の實取さんは、4町と広くなった圃場で、今年順調に実施されました。秋の農産展で東京へ来られ、すばらしい生産者の発表をしていただきました。自然農法や食の大切さなど、消費者の心に強く響かせていただきました。

他にもお伝えしたい稲作生産者は、千葉、静岡、熊本、新潟、宮城、石川、福井、兵庫などたくさんありますが…。今年も、自然農法の生産者や生産量も増えてまいります。私たち消費者も「自然農法」の向上にぜひ貢献させていただきたいと思えます。



7月27日 熊本訪問 中央が實取義洋さん

自然農法の作物、命を救われる思い

東京都 長野 暁



昨年10月13日の朝、突然尿が出なくなり、その日は夜まで出なくて苦しみました。しかもその夜からは2日間、腎臓と膀胱のあたりに激痛が走りました。数秒から数分おきに痛み、痛むたびに全身に力を入れてこらえるような状態でした。その間、自然農法のほうじ茶のみが、のどを通りました。初めて飲んだときは、体にしみ入る感じがして、この液体だけで命がつながると直感しました。最初の1週間は液体しかのどを通らず、おかゆを口にしても飲み込むことができませんでした。

2週間目に入ってから、自然卵を口にすることができました。一番最初はそのまかき回して飲みました。不思議なことに体に力を頂いたような感じで、これで生きのびることができる感じがしました。徐々に牛乳を混ぜてミルクセーキのような形にして飲み、数日たってから自然米を卵に数粒混ぜたものが、のどを通るようになりました。その後、徐々にお米を増やしていき、だんだんと卵かけごはんとして食べられるようになりました。体力はみるみる回復し、立ち上がって少し歩くとふらつきませんが、横になっている分には何の苦痛もないような状態に戻りました。命を頂いたように思いました。

固形物が食べられるようになったので、その後は自然農法の野菜を煮込んでスープを作ってもらい、他には自然農法のみかんジュースや麦茶をおいしく頂くことができました。

当初は、激痛の後、お腹がマリのように膨らみ、なかなかへこみませんでした。12月23日あたりから、その腫れが引いてくれ、大変有り難かったです。現在では朝食には自然米に自然卵をかけた卵かけごはんを食べ、そのあと自然農法の緑茶を頂くという食生活になっています。自然農法の野菜、お米、お茶、卵を私たちに提供してくださっている生産者の方々に心からお礼申し上げます。

お知らせ

- ★ 自然農法勉強会 2月22日(水) 午前部 10:30~ / 午後部 19:00~ (別院講堂)
- ★ 自然農法頒布会 2月23日(木) 鎌ヶ谷会場 11:00~ 売り切れ次第終了
- ★ 自然農法頒布会 2月26日(日) 東中野会場 10:00~ 売り切れ次第終了

無施肥無農薬栽培物の販売予定

2月4・10日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ：せん茶・ほうじ茶(ミコノックも有り)、ほうじ茶ティーバック
- 長柄山自然農園：卵、燻製卵、ひき肉、大根
- きじま平自然農産：自然米、きな粉、小豆甘納豆、ブルーベリージャム、米粉(納豆、干し柿 4日のみ)
- 菜園金野：サツマイモ、サトイモ(ほうれん草、カットかぼちゃ 4日のみ)
- 中島農園：下仁田ネギ、長ネギ、こうげん豆、ジャガイモ、ダイコン、梅干
- ジョリフィーユ：バレンタインギフト、マドレーヌココア、プリン 他

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>